

太陽黒点観測報告

2018年6月

観測者 : 村上昌己

1) 概況

今月は、関東では6日に梅雨入りとなったが、雲の多かったのは中旬までで、その後は梅雨前線は北上して晴天傾向となった。下旬には前線に吹き込む南風が連日強く吹いて、27日には強風のために観測を諦める事となった。例年と違って東からの太平洋高気圧の張り出しが強くなり、関東・甲信地方の梅雨明けは、異例の六月中のこととなって、29日に宣言が発表された。今年の梅雨の期間は三週間という短さであった。

黒点活動は、北半球に不活発ながら黒点群があつて、相対数的には先月より上昇している。南半球では五月中旬からの無黒点が続いて、今月末で約50日間に達している。

今期は2204~2205周期の観測だった。私の所では、北半球に3群の新しい黒点群を観測しただけであった。

2) 日別観測記録

Table with columns: 日付時刻, 北半球, 南半球, 全面, 中心帯, 相対数, 視相, 肉眼黒点群, 天候. Rows include dates from 01 to 30 and summary statistics.

合計 14 183 0 0 14 183 5 69 288 119 -- (---/ 0日)

相対数(10g+f) 288 0 288 119

日平均相対数 15.2 0.0 15.2 6.3

相対数活動比 100% 0% 41.3%

相対数前月比 +48.0% -100% +27.4% +49.1%

日平均相対数 9.1 0.0 9.1 3.8

修正値 (k=0.6)

観測日数 19日

観測地 : 神奈川県横浜市泉区和泉中央北 (北緯 35° 25.2' 東経 139° 29.4')

使用機器 : 10cm屈折望遠鏡 (f=1200mm) 48倍 15cm投影、80倍、96倍にて拡大スケッチ・黒点数カウント

\*\* 8cm屈折望遠鏡 (f= 910mm) 51倍 15cm投影、73倍、100倍にて拡大スケッチ・黒点数カウント

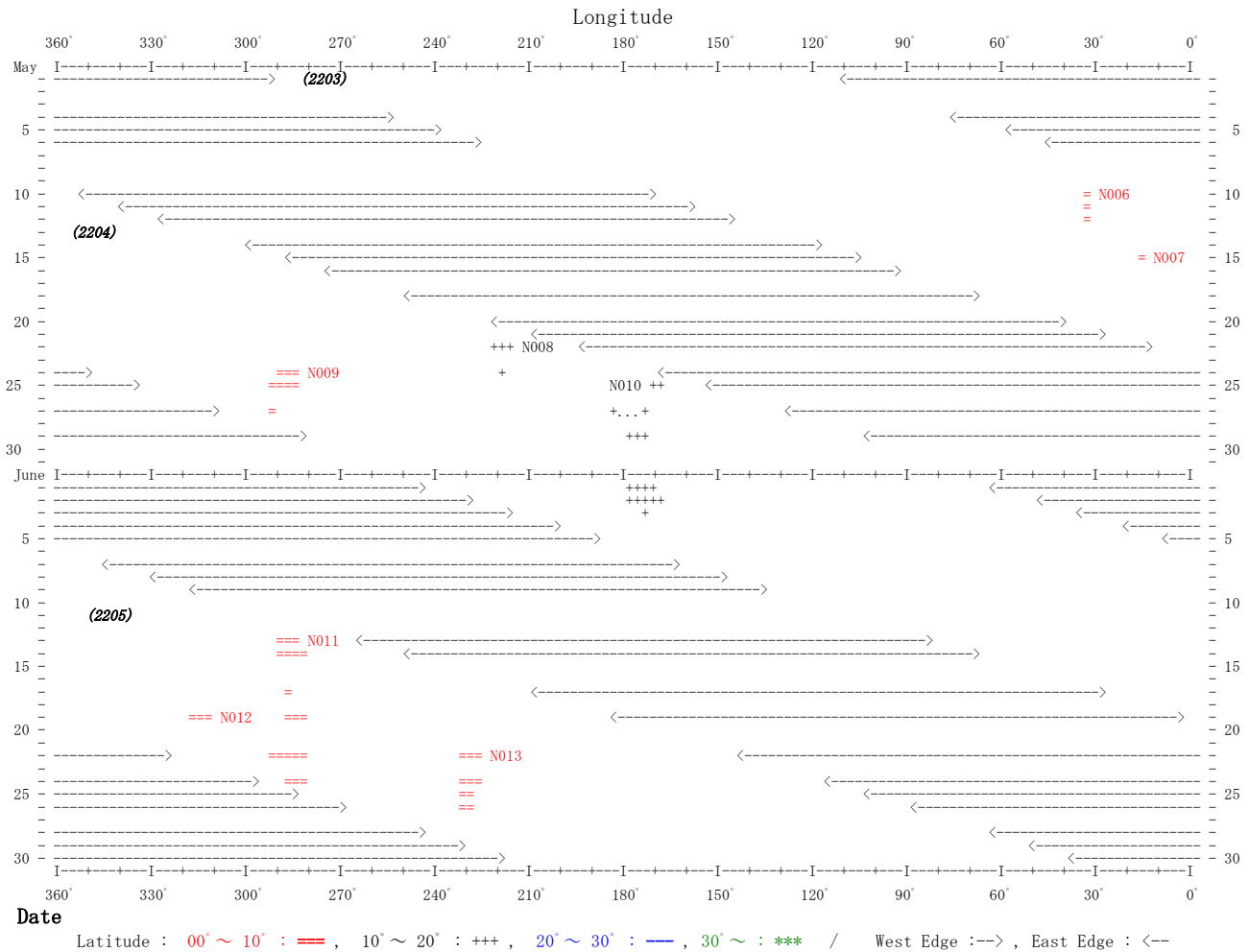
### 3) 黒点群活動表

#### 北半球

周期 番号	群番号 Group Number	太陽面		観測期間			活動状況															
		緯度 Lati.	経度 Longi.	初日 F.Obs.	中央通過 C.M.P	末日 L.Obs.	Before C.M. Passage			:CMP: After C.M. Passage												
Ro. #	NOAA Murakami						-	-	-	-	-	-	-	-								
2204	12712 N18010	N13-18	173-185	May 25	30 June 03		eo	J3	-	C3	-	D29	:-	:-	D23D19J2	wl						
2205	12713 N18011	N04-07	283-289	Jun 13	18	24	eo?	-	C6	B9	-	-	A2	:-	:C8	-	-	D12-	B4	wd		
2205	12714 N18012	N07-08	313-318		19	-									wo?	-	D7	-	-	wl?		
2205	12715 N18013	N06-09	228-233		22	22									eco?	-	-	:D24	:-	D12J13J7	-	wl?

Sunspot Drift-Chart May 2018 ~ June 2018

北半球 Northern hemisphere



## 南 半 球

略語表

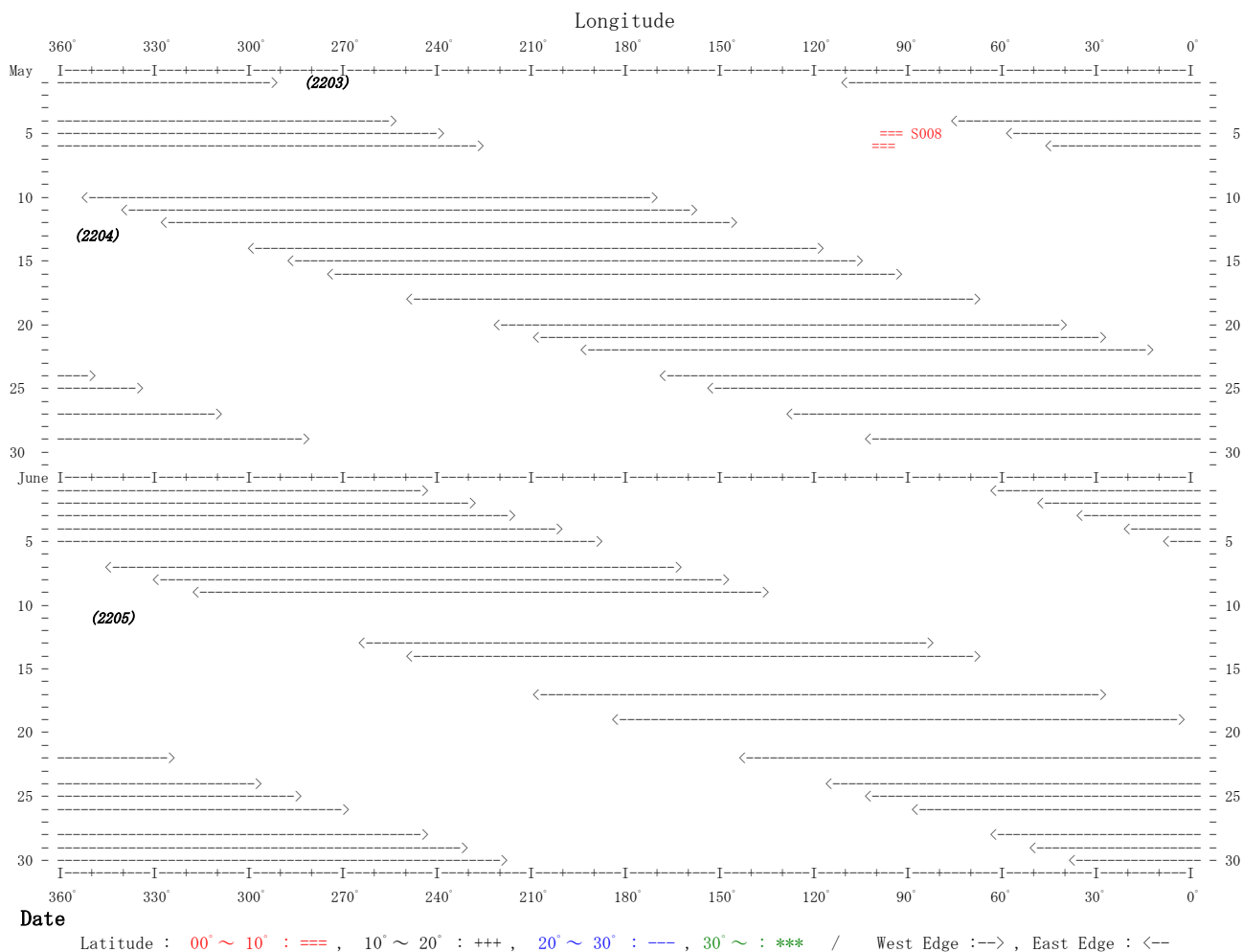
e: East hemisphere; w: West hemisphere; c: Center;  
 a: Appear; d: Disappear; o: Outbreak; l Lose;  
 \*/\_ : Visible to the naked eyes; uk: UnKnown; x: Not find; (p): penumbra

周期 番号	群番号 Group Number	太陽面 緯度 Lati.	太陽面 經度 Longi.	観測期間 初日 中央通過 末日 F. Obs. C. M. P L. Obs.	活動状況 Before C. M. Passage :CMP: After C. M. Passage : - : - : - : - : -
Ro. #	NOAA Murakami				

(None)

### Sunspot Drift-Chart    May 2018 ~ June 2018

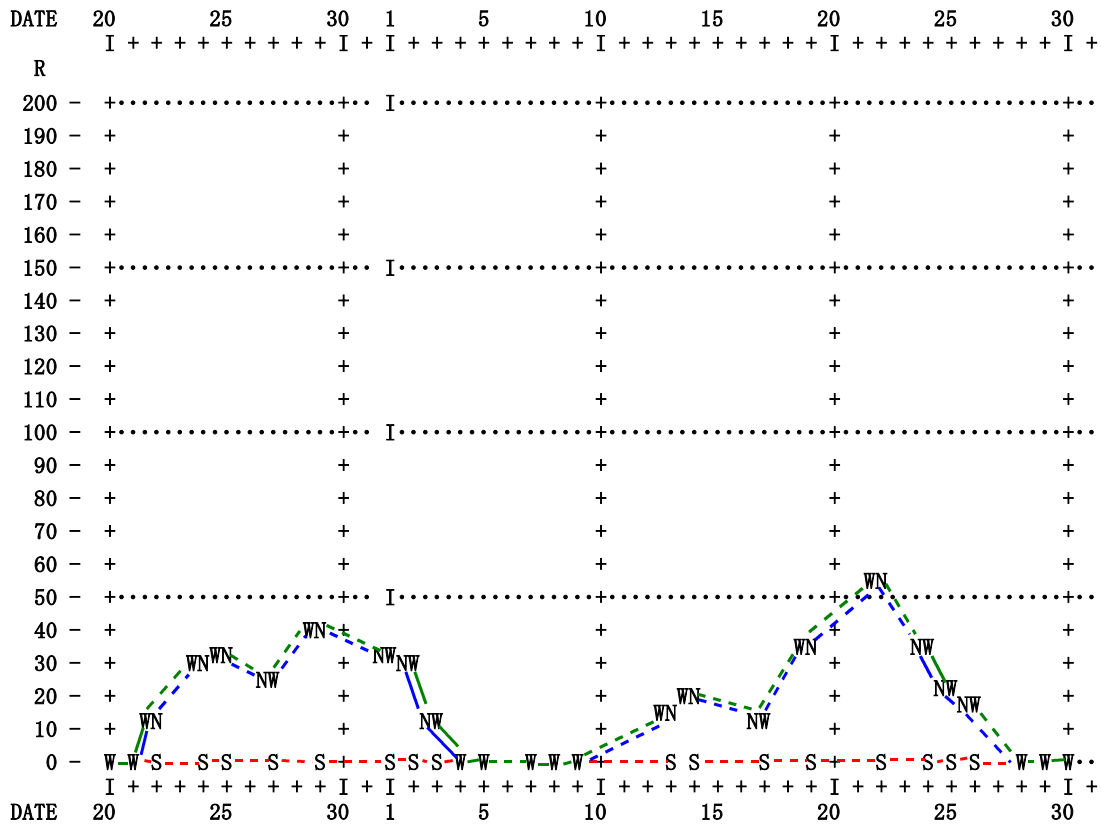
南半球    Southern hemisphere



#### 4) 南北別相対数日変化図

R (k=1.0)      W:全面   N:北半球   S:南半球

2018 June



#### 5) 前年からの月別相対数変化図

平滑化曲線は、13ヶ月移動平均曲線。2017 Dec までの値が今月までの観測を反映している。

